



笠間市 地域包括支援センター
KASAMA

包括ケア会議だより

Vol.11
R3.3.1

こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

暖かい日が増えてきましたね。春はもうすぐそこまで来ています。

さて、今年度の包括ケア会議は個別事例検討会として開催しています。今回は、民生委員、警察署、医療機関、居宅介護支援事業所、社会福祉協議会、高齢福祉課の皆さんにご参加いただきました。

★支援困難事例について検討しました。

今回検討したのは「精神疾患が疑わしい独居高齢者のケース」です。

ご本人は感情の不安定さが顕著で、日常的に周囲の人を突然怒鳴りつけるため、地域住民は怖がってご本人を避けています。

地域での孤立がご本人の地域住民に対する不信感を助長しており、状況は悪循環に陥っています。

参加者からは、「ご本人が落ち着いて生活できるように、そして周囲と少しでも

良好な関係を築くためにも、感情の不安定さについて精神科を受診し適切な治療を開始した方が良いのではないか」という意見が出ました。

ご本人には病識がなく治療の意思が見られないことから、方針としては、別居している家族とご本人の状態や近所の方が困っている状況を共有したうえ、ご本人の受診に向けて動き出すことにしました。

1月の検討事例の経過報告

★「身体的不安が強く病院受診や電話連絡を繰り返すケース」

医療関係者とケアマネジャーらが本人宅を訪問して、本人と一緒に薬の整理を行いました。医療・介護連携により、本人の不安が解消され、穏やかな生活を取り戻されますよう、引き続き支援を継続予定です。



困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？

下記までご連絡よろしくお願いたします。

検討事例
募集中



笠間市地域包括支援センター TEL 0296-78-5871